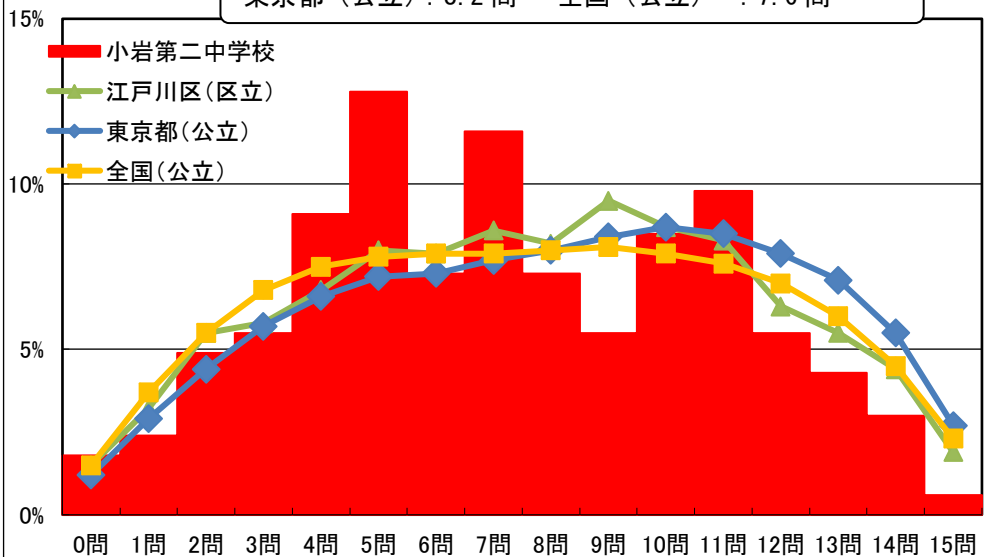


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】小岩第二中学校

正答数分布

平均正答数

小岩第二中学校 : 7.3 問
江戸川区 (区立) : 7.7 問
東京都 (公立) : 8.2 問
全国 (公立) : 7.6 問

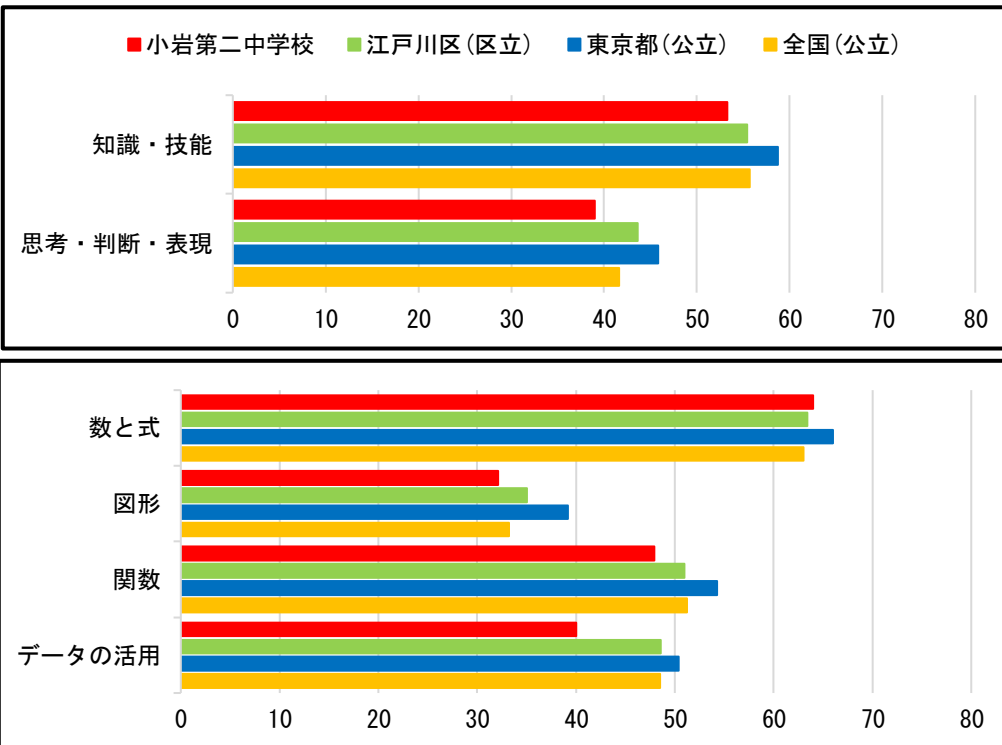


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← 下位

数 学	上 位				下 位			
	A層 11~15問	B層 8~10問	C層 5~8問	D層 0~4問	A層 11~15問	B層 8~10問	C層 5~8問	D層 0~4問
小岩第二中学校	13.4	23.8	26.2	36.5	13.4	23.8	26.2	36.5
江戸川区 (区立)	18.1	26.5	24.7	30.7	18.1	26.5	24.7	30.7
東京都 (公立)	31.7	25.1	22.2	20.8	31.7	25.1	22.2	20.8
全国 (公立)	19.8	23.6	23.8	32.8	19.8	23.6	23.8	32.8

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小岩第二中学校	49%
江戸川区 (区立)	51%
東京都 (公立)	54%
全国 (公立)	51.0%
都との差	5ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

A層が全国平均より6.4ポイント低く、A・B層の合計では6.2ポイント低いという結果になっている。このことより、上位層を増やしていくための指導が必要である。そのためにもまずB・C層の学力を高める工夫が必要である。少人数クラスでの指導において、基本問題の反復練習や定期的に小テストを行う。それによって、知識の定着を図っていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。